

まつぼっくり



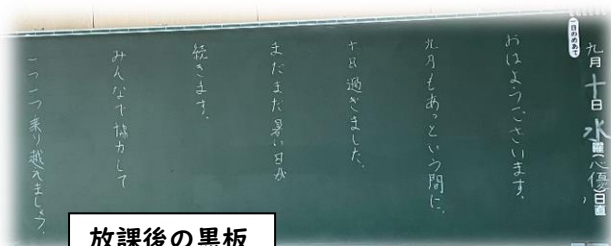
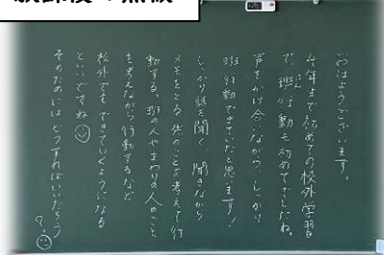
宇城市立三角小学校
学校だより 第38号
文責 校長 西村羊治
令和7年9月12日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」

ウェルカムボード

9月9日、教頭先生が出張だったこともあり、18:00前に校舎の戸締まりに各教室などを回りました。きれいに整頓された教室ばかりです。周りながら気持ちよくなります。また、さらに嬉しいことに黒板には担任の子どもたちへの愛情いっぱいのメッセージが書いてあります。今日学習したこと、さらに成長して欲しいこと、「認め、ほめ、励まし、のばす」ことばがちりばめられています。次の日の朝メ

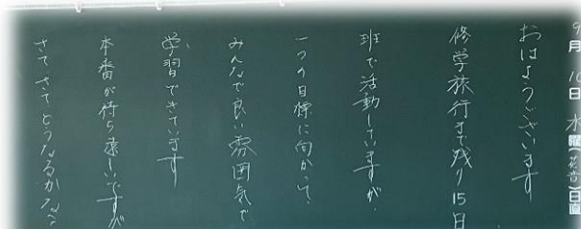
放課後の黒板



放課後の黒板

ッセージを読んだ子どもたちに、担任の気持ちが届くことでしょう。ちょっとしたことで、この様な小さなことを繰り返していくことが、教育の基本だと思います。効果が即出るものは、子ども自身に本当に身に付いたものかどうかは分かりません。教育の効果とは少しずつ少しずつ付いていくものだと思います。

す。私は教頭時代お世話になった校長先生から「少しずつ少しずつそれが大きい」という言葉を教えていただきました。鈍感な私は、少しずつがなぜ大きいのだろうと正直思いました。「石の上にも三年」という言葉と結びつけることができなかったのです。今は、少しずつでもそれを継続していくことが大きな結果を生み出してくれると解釈しています。私の教師生活35年において、そのようなことを数多く経験してきました。本当に手のかかった子が、卒業時にはリーダーになっている。学校にあまり登校できなかった生徒が、消防隊員として立派に社会貢献しているなど、長いスパンでの子どもたちの大きな成長を感じずにはいられません。三角小138人の子どもたちも今後立派に成長していくことでしょう。今からわくわくしています。



放課後の黒板

気持ちの良いあいさつ

朝からの爽快感

「おはようございます。」「校長先生おはようございます。」「西村校長先生おはようございます。」校長室で朝仕事をしていると数名の子どもたちが、わざわざ校長室の入り口に来てあいさつしてくれます。廊下で会ったときはもちろんです。私も「おはようございます。」と子どもに聞こえるようにあいさつしています。朝からのさわやかなコミュニケーションはとても素敵で、一日のスタートをすがすがしいものにしてくれます。あいさつを自分からする大人であり、あいさつを気持ちよくできる子どもを育てていきたいものです。率先垂範です。子どもに対して「しなさい」ではなく、大人から先に明るく元気に模範を示すことが大切だと思います。そう言いながらも私ができていないときもありますが、その気持ちは忘れず継続していきます。全校児童には浸透していませんので、今後もこちらのあいさつと指導及び支援を継続します。各ご家庭での日頃からのあいさつの励行もお願いいたします。あいさつのできる人は多くの社会において通用します。

